

警 察 署 協 議 会 議 事 録

協 議 会 名	令和7年第1回宮城県鳴子警察署協議会
開 催 日 時	令和7年2月20日（木）午前10時00分から 午前11時20分まで
開 催 場 所	宮城県鳴子警察署大会議室
出 席 者 等	1 協議会委員 ・ 出席委員～ 高橋寿 千葉暢子 鎌田清志 ・ 欠席委員～ 大崎佳子 2 警 察 署 側 署長 会計課長 警務課長 生活安全課課長代理 地域課長兼生活安全課長 刑事課長 交通課長 警備課課長代理
議 事 概 要	1 報告事項 (1) 管内の治安情勢等について（署長） 署長から、令和6年における刑法犯認知・検挙件数、交通事故等の管内の治安情勢についての説明がなされた。 委 員：外国人の窃盗団は、窃盗目的で入国するのか。 それとも、正規の目的で入国していた者が敢行するのか。 署 長：正規の目的で入国していた者が、金品を目的として犯行を行っている。 委 員：特殊詐欺のグループは、ネットによる繋がりか。 署 長：そのように認識して頂いて構わない。 委 員：鳴子警察署において匿名流動型詐欺グループの一員を逮捕したと報告があったが、認知から逮捕までの経緯について伺いたい。 署 長：認知、逮捕経緯について説明。 委 員：外国人の犯行が管内でも発生し、脅威を感じる。 今後、大崎市内に外国人を対象とした日本語学校が建設予定であると聞いている。 入校者の資質、国籍、人数等の把握と治安維持のための対応は如何か。 署 長：把握し、然るべく対応する。 (2) 鳴子警察署1年の歩みについて（警務課長）

	警務課長が、令和6年中における鳴子警察署の歩み（事件検挙、施策等）についての報告を行った。 委員：山岳遭難や鳴子地域特有の硫黄の問題、過去には、地熱発電所で爆発があったが、警察官の二次被害や受傷事故防止に万全をお願いする。 署長：承知した。 2 意見・要望 委員：鳴子警察署には、特殊詐欺の被害防止等を目的とした劇団があると思うが、昨年の実施状況については如何か。 地域課長：実施していない。 委員：高齢者の方や行政機関が期待している。実施をお願いする。 地域課長：承知した。 3 速度取締り指針について 交通課長から鳴子警察署における重点エリアの設定等について説明がなされた。（委員からの質問なし）
備 考	